

議会運営委員会会議録

招集（開催）年月日	令和2年12月17日（木）	
招集（開催）場所	岩美町役場 全員協議会室	
出席委員	田中委員長、杉村副委員長、橋本委員、寺垣委員 足立議長、柳副議長	
欠席委員	なし	
職務出席者	鈴木議会事務局長	
開会	午後1時53分	
記録者	議会事務局 中島書記	
審査事項	別紙日程表のとおり	
審 査 の 経 過		
日程	発言者	内 容
開会	田中委員長	*起立、礼 ただ今から議会運営委員会を開会する。 議長よりあいさつ願いたい。
あいさつ	足立議長	来年度の議会の予算を議運できちんと検討したうえで執行部に提出したいと思うので、意見を述べていただけたらと思う。例年の予算をあげているので、十分検討願う。以上だ。
協議事項 (1)	田中委員長	本日の協議事項に入る。 (1) 令和3年度の議会関係予算要求案について、事務局長説明をお願いします。局長の方で議運の委員以外の方から意見等何か聞いているか。
	鈴木議会事務局長	前回の議運の報告と併せて予算に要望があれば15日までに提出いただくよう通知したが、事務局にはそのような声は入ってきていない。 資料のP1から説明させていただく。 ※資料P1より令和3年度歳入歳出当初予算について説明。 ※資料P6の令和2年度3月補正について説明。 資料についての説明は以上だ。
	足立議長	一言お詫びをさせていただく。交際費で多額の未執行がある。局長が説明したが、コロナの影響もあるし、各歴代の議長によってそれぞれの判断をしてきている部分もある。補正のところ、50万円の未執行が多い少ないの意見が毎回出てきている。以前から執行すべきものを積み上げて、65万円というのが事実だ。それぞれの議長の考え方でしてきているということと、コロナの影響で執行部分が少なかったということをお詫びする。できうるならば、ある程度の予算は持っていた方が経験上いいと思うので、あえて同額の予算で組んでいる。この部分が多いということになれば、次年度以降の予算を組み替えていただいても結構だ。その辺の判断をみなにして欲しいので、この補正の箇所で発言させてもらった。
	杉村副委員長	交際費が足りない場合、予備費を執行部と協議して使わせても

		らうというようなことはあるか。
	鈴木事務局長	交際費の性格上、どこかから流用することはできないと思っている。増額補正ができないと言われるとそれはまた違うのかなと思うが、先ほど言われたように、予備費からということになると流用に近いのかなと思った。
	杉村副委員長	できないことはないということか。
	鈴木事務局長	予備費は流用できないと理解している。
	田中委員長	予備費は流用なのか。
	鈴木事務局長	予備費というのがよく分からないが。
	杉村副委員長	岩美町では、ほぼ予備費を使ったことがないと認識している。議長交際費で出すべきだというものがあった時に、他から流用できないとなれば、予備費執行という形しかないかなと思っている。仮にできないなら、所用額に余裕を持って見込まれた方がいいと思う。
	足立議長	いい機会だから。その時々議長によって、金額も、するかないかも違ってきている。私一人だけの判断では難しい。歴代の方々に倣ってということになれば、まだまだ増える。多少交際費を持たせてもらって、後で不用額としてあげるのも一つの方法だ。どちらがいいか皆に議論してもらいたいのと、どこまで交際費を使うかというのもどうなんだろう。誰と相談したらいいのか。
	杉村副委員長	議長は色々悩まれておられて大変だが、私の基本的な考え方は、議会は行政を正す立場にあり、正す立場の議会の長である議長が関与するのが交際費であり、交際費の執行率があまりに現実的でないと行政に対して示しがないというものだ。あまりぎりぎりだといけませんが、今回、50万円の減額となった場合にそれで大丈夫であればそれはそれでいいが、今回は、半分くらいいいのではないかと。
	足立議長	使わない努力をしている。もう少し支出してもいいのかなと思う。次の人のことも考えないといけないかなと思う。皆の出す範囲内で。
	田中委員長	前に交際費について議論したことがある。交際費を出すべき対象の事業に照らしてチェックするしかない。想定はしていなかったが、項目なり計画に照らして、予算を上回るけど出さないといけない場合なら、補正でもしないといけない。先ほど議長が言ったように、議長になった人によって違うということのないようにしないとけない。特に行政をチェックする立場の議会からすれば、余計に基準がはっきりしていて、足りなかったら追加でみると。基準が適正かどうかではっきりしていることがまず第一。それで、考えられる事項をチェックすればいいのではないかと。
	柳副議長	積算の根拠は、支出すべきことを列挙して積算されていると思う。はっきり言うが、65万円くらいなら持っていてもいいと思う。

		し、交際費を追加で補正するという事は、できるがすべきではない。このご時世で、この程度は持つておかれないと。65万円くらいは持つておかないといけない。これでも少ないと思うが。交際費の追加補正は、できるとしてもあり得ない。
	足立議長	皆にお願いする。50万円の不用額は、今年はこのまま認めていただいて、次年度については初心に返って局長と1年間適正かどうか皆と相談しながら……。それしかない。
	鈴木議会事務局長	交際費は性格上、議長が計画的に執行できるかと言えばそうではなくて、どのような事案が起こるか分からないことがほとんどだ。予算を組む時には、これまでの実績とかその時の情勢を勘案して、これくらい持つておけばいいかなという感じで組まざるを得ないと思う。
	足立議長	予算の少ない町村もあるし、他の支出の仕方をしているところもあるし、全く持たない町村もある。もう一度、一年間研究させてほしい。一年間報告しながらやってみるので。
	田中委員長	町が予算を立てる時に事業費の中に入れてみると交際費ではなくなる。鳥取市なんかもそのような支出の仕方をしていると思っている。市にしては金額も少ないし。単純に新聞が交際費の金額の一覧を載せて比較をするが、それぞれの組み方が違うので正確ではない。町としてどう考えるかをこの前したつもりだった。その中で、杉村副委員長が言うように想定外のことを踏まえると、予備費的なものも含めて、交際費の増額補正もしないようにならざるを得ない。適正な支出の仕方は、岩美町議会として決めておくということで。それしか町民に説明できないだろう。
	足立議長	説明できるようなことにする。
	田中委員長	他の人が議長になってもそれでいけばいいと思うし。それから、局長、余分なことだが、補正の備考欄一番下の人権研修費うんぬんかんぬんと書いてあるが、「人権研修等の中止に伴う負担金の減」ではないか。負担金が中止になるわけではない。 では、P2から順に項目や金額について意見等を伺う。
	足立議長	P2 議員研修等の旅費のところ、毎年集会や大会が記載されているが、いつからこの大会に行くか決めているのか。
	鈴木議会事務局長	ずっと前からだ。
	足立議長	行った方がいいのは十分承知しているが、ずっと同じ文字をみるので。多々あるが。
	鈴木議会事務局長	執行部が、担当課のほうでこのような研修の参加に予算を組んでいる。公務として研修への参加を執行部が推奨して、計画しているのだと思っている。議会もそれに合わせて、人権関係の研修会に参加しようというふうになったと理解している。
	橋本委員	旅費になるのか分からないが、このコロナ禍の中で県外に出るのはリスクがある。積極的に研修には参加すべきだと思うのだ

		が、成人式や春高バレーのようにPCR検査まででなくても、岩美病院でできる抗原検査ぐらいのものを、今年度に限りしていただけたら、少しでも安心して会議に参加できるのではないかと思います。
	足立議長	それは、私が言いたいことだ。私は今は県外から帰ったら自費でしている。
	田中委員長	帰ってからも自費か。それはおかしい。それは、公費だと思っていた。
	足立議長	職員も県外に出ても何もしない。
	田中委員長	道理が合わない。自分を守るための検査ではなく、感染拡大させないための検査だ。それは、当然公費でないと。
	足立議長	このようなところに公費をかけて行ってもらうのに、予算的にはみえないのか。
	鈴木事務局長	執行部とのバランスがあると思う。
	田中委員長	バランスの問題ではない。むしろ職員も出張したら自己負担で検査しているのだろう。
	足立議長	職員は検査していない。
	田中委員長	それは、しないとイケない。
	足立議長	行って来いと言う以上は、みないとイケない。
	田中委員長	民間で感染して、濃厚接触者と言われる人たちは、自己負担無しで、無料で検査している。それは、感染拡大をさせないためだ。
	杉村副委員長	平井知事はどのようにしているのか聞いてみては。県議会はどのようにしているのか。
	田中委員長	担当課はどこになるのか。
	鈴木議会事務局長	総務課になるのかな。
	田中委員長	総務課長にちょっと上がって来てもらうように連絡を願う。
	足立議長	企画財政課長にも上がって来てもらうように連絡して。
	田中委員長	もし二人とも時間が空いていれば上がって来てもらって。
	中島書記	了解した。
休憩 再開	田中委員長	休憩する。 14時40分 休憩 再開する。 14時47分 再開 *総務課長、企画財政課長出席
	田中委員長	今議論の中で、県外出張をして帰ってきた時のPCR検査を自己負担でしているが、これから県外の研修に参加して帰ってきた時に、検査をした方がいいのではないかと。自己負担ではなく、公費で受けてもらうのが筋ではないかとのことがあったので、村島総務課長と大西企画財政課長に来てもらった。ここで結論は出ないが、県の対応等を調べてもらいたい。濃厚接触者だったら、その人が感染源になって広げてはいけないので、行政検査でPCR検査を無料で行う。その考え方でいくと、議長でも町長でも職

		員でも、県外に出張しての検査は自己負担ではなくて、岩美町として感染拡大防止の観点から町の負担で検査してもらおうと考えるのが筋ではないかと思うので、検討してみしてほしい。
	村島総務課長	他の自治体の状況を承知できていないので、また聞き取りしてみたいと思う。
	田中委員長	他の自治体がしていないから、しなくてもよいということにならないように。
	柳副議長	まずは、県にならってということを考えられた方がいいと思う。市町村ではなくて。
	村島総務課長	県の危機管理がどうなっているか確認させていただく。
	寺垣委員	3月の定例会に来年度の予算を特別委員会ですが、その時に執行部がそのような費用をみようとなって、じゃあ議会もみた方がいいのではということになった場合、遅いのか。例えば、執行部が検査費用をみるから、議会もみてもらいたいというのは可能か。
	鈴木議会事務局長	予算提案された後の話だな。
	寺垣委員	議会からこのような提案をし、県の状況も研究されて、来年度の予算に反映されると思うが、それを3月の来年度の予算の時に議論できるのかできないのか。
	鈴木議会事務局長	予算特別委員会で議論する時には予算案が上程されて、それについて認めるか認めないかの審査だ。そこにこのようなものを加えてよということとはできない。
	田中委員長	当初予算そのものにだな。
	鈴木議会事務局長	当初予算そのものに。あとは例えば、近々の補正予算で対応するとか。まあそれは財政と協議しないといけないが。
	柳副議長	予算化を目指すにしても、県に準じてということを最初に考えた方がいいのではないかと。県を調べてから検討したらいいと思う。
	足立議長	本当に職員はこの半年、一人も県外に出てはいないのか。
	村島総務課長	出張では出ていない。週末に県外の子どものところに行くとかはすべて報告させている。研修の講師もリモートか県内の講師をお願いしている。
	田中委員長	大阪に住んでいる業者が、仕事でこちらに来て調べたことがあったと思うが、それは、感染がそこから広がるといけないから調べる。同じことだ。この際なので、検討してもらおうということを議会運営委員会の意思として伝えたいがよろしいか。大西企画財政課長、よろしいか。課長査定でよろしく願う。では、お引取り願う。
		*村島総務課長、大西企画財政課長 14時55分退室
	田中委員長	資料P2についてはよろしいか。資料P3について何かあるか。なければ進む。では、資料P4についてはどうか。議長交際費については、先ほど議論したように引き続きしてもらおうということ

		で。 局長、会議録のページ数が増える見込みの要因は何か。いいことなんだと思うが。議員の質問や質疑が増えたとか。
	鈴木議会事務局長	臨時会もあるし、定例会ごとの一般質問のボリュームなども影響している。
	田中委員長	いい方向のあらわれだと思う。
	杉村副委員長	前回は前々回も申し上げたが、日本海新聞の購読料のことだ。前回は交際費とかの関係もあって、日本海新聞とお付き合いしなくてはいけない内容のこともあった。おそらく各議員が、家で日本海新聞を読める環境にありながら、ここで公費を使って購読する理由が分からないと前回は申し上げたと思う。購読は必要なのだろうか。
	柳副議長	日本海新聞は、唯一の地域の新聞だ。この程度なら、個人的には逆に置かない方がおかしいくらいの気持ちだ。唯一の地域の新聞ぐらいは、購読しているという形をとられた方がいいと思うが。
	寺垣委員	私も割と読ませてもらっている。見落としていた記事がここに来れば1週間前のものもあるので、探して読めたりすることは有難いと思っている。できれば、地元の新聞ということもあるので置いていただきたいと思う。
	橋本委員	杉村副委員長の言われることもよく分かる。議員や役場の職員はほぼ100%購読しておられるだろうし、下のロビーにもあるし、議会事務局にまで必要かというのは確かにそうだ。しかし、新聞は資料として扱われる部分もあるので、1部ぐらいは取るべきだと思う。
	田中委員長	活用方法を考えたらどうか。切り抜きを作るとか。
	足立議長	誰がするのか。職員の仕事が増えるだけだ。
	杉村副委員長	切り抜きは、自分の新聞ですればいい。
	田中委員長	資料室、図書室があるが、充実してないのが問題となっている。議会のことを書く場合に、その貧弱さが指摘されている。個人みんなが取っているということと、公的機関として議会に備えてあるというのは、少し性格が違うと思う。杉村副委員長が言われるように実態はそうだ。それぞれが活用する公的機関としての議会としていうと資料とするのがいい。
	足立議長	ここに中央新報を置くわけにもいかないし。
	田中委員長	どれぐらいの期間、新聞を置いているのか。
	鈴木議会事務局長	一か月くらいだ。
	田中委員長	切り抜くのは時間がかかるから、図書館みたいにある一定期間半年分や一年分きちんと置いておく。
	柳副議長	資料としてというのは対外的にも大義名分がつく話だが、今日の時間は、地元紙として購読を継続するかどうかで終わろう。それでいいと思う。

	田中委員長	理屈で考えている。
	足立議長	まあ、今日のところは続けよう。続けさせてほしい。
	田中委員長	議長のたつてのお願いということで。その他あるか。資料 P5 であるか。
	橋本委員	確認だが、負担金補助及び交付金のところで、負担金とは旅費ではなくて参加費であってあるのか。
	鈴木議会事務局長	参加費だ。旅費は旅費の項目で組んである。
	田中委員長	常任委員会視察における研修費負担金は、謝礼だと分かるが前は謝礼を支払ったことがなかったが・・・。
	鈴木議会事務局長	謝礼ではなくて負担金だ。視察を受入れるところに一人いくら、一団体いくらとかいう形で支払う。
	田中委員長	1万5千円で足りるかということだ。3万円のところがあった。滋賀の・・・。
	足立議長	まあ、特別な時には特別なようにするので通常にしておこう。
	田中委員長	通常1万5千円か。
	鈴木議会事務局長	決まってない。相手方によって色々だ。全然取られない所もあるし、民間を視察する場合は求められることが多い。行政の場合はお互いということもあるが、求める場合と求めない場合がある。
	柳副議長	費目として計上しているということだ。
	田中委員長	間に合えばいいが、間に合うのかと。
	鈴木議会事務局長	間に合わなかったところがあり、その時は議長交際費からお願いした。関連して、負担金を求められないところでも、お世話になるということでお土産を持参するが、それは交際費で支払う。
	田中委員長	お土産を持って行かないところはないもんな。
	鈴木議会事務局長	まあ、そうだ。
	寺垣委員	全国大会、人権研修は、二人行っていたように思うが、いつから一人になったのか。
	鈴木議会事務局長	説明が不足していた。令和2年度の予算を組む時から一人にさせていただいた。二人行かないといけないのかということもあるし、アカデミーなどの研修に力を入れるということで12名分見させていただいたということもある。そのようなことで一人とさせていただいている。
	寺垣委員	分かった。
	田中委員長	町長部局の顔を立てているということだ。
	足立議長	毎年同じ所に行って同じ研修をして、溢れる教養になっているので、もういいのではないかとやっているが・・・。
	寺垣委員	私も2回行った。
	足立議長	まだ足りないか。
	寺垣委員	もう十分だ。賢くなった。
	田中委員長	その他よいか。局長、よろしいか。
	鈴木議会事務局長	要求内容については、これで財政に予算要求させていただき、

		宿題としてPCR検査を検討しようということで。
	田中委員長	金額を変えるわけではないが当面、議長交際費の利用確認を願う。局長から議長に相談してもらって決着をつけてほしい。
	鈴木議会事務局長	了解した。
閉会	田中委員長	以上で終了する。 *起立、礼 15時11分 閉会

上記のとおり会議の次第を記録し  
これを証するため、ここに署名する

議会運営委員長

田中克美